

(書式 1 - 1)

離婚の慰謝料についての合意書

合 意 書

〇〇〇〇を甲、〇〇〇〇を乙として、甲乙間で次のとおり合意した。

第 1 条 甲乙は協議離婚することに合意し、甲において速やかに〇〇市役所に離婚届を提出するものとする。

第 2 条 乙は甲に対し、離婚の慰謝料として、金〇〇〇万円の支払義務あることを確認し、これを、平成〇〇年〇〇月〇〇日限り、甲名義の〇〇銀行〇〇支店の普通預金口座（口座番号〇〇〇〇〇〇〇〇）に振り込む方法により支払う。

第 3 条 甲乙は、本件離婚に関し、本合意書に定める以外、相互に何らの債権債務のないことを確認する。

以上の合意成立の証として、本合意書 2 通を作成し甲乙それぞれ記名押印の上、各 1 通を所持するものとする。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

住 所

甲

住 所

乙

解説

(第1条)

本文例は、甲乙間に子供がいないことを前提にしたもの。子供がいる場合は、協議離婚の際、親権者も決定して届け出る必要あり（民法第819条、戸籍法第78条）。

(第2条)

「慰謝料」は、一方の不法行為に伴う他方の精神的苦痛等に対し金銭にかえ請求し得るもの。そのため、本件文例では、甲の側に不貞等の何らかの有責原因がある事案である。

尚、離婚の際、この外に、夫婦で築いた財産のある場合、財産分与請求の問題もあるが、本件では特にこれらのものがないことが前提。

(印紙)

本件の文書には、印紙は不要である。